

令和2年度 第3回三郷区地域協議会

次 第

日時：令和2年7月14日(火)午後6時30分～
会場：三郷地区公民館 2階 集会室

1 開 会

2 議題等の確認

3 報告

(1) 「公の施設の再配置計画」の策定について 資料No.1 [行政改革推進課]

(2) 令和2年度地域活動支援事業について 資料No.2

(3) 三郷区地域協議会（第3期）の取組状況について 資料No.3

参考資料

4 事務連絡

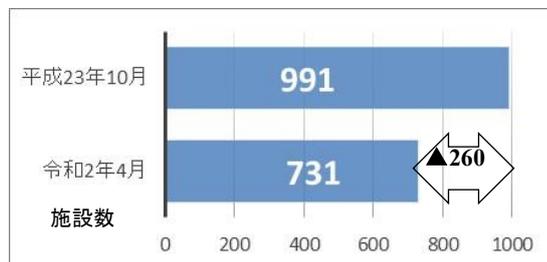
5 閉 会

「公の施設の再配置計画」の取組について

1 公の施設の再配置の取組状況と現状と課題について

(1) これまでの取組状況

市町村合併後、公の施設の廃止や譲渡を進め、平成23年10月時点で991施設あった公の施設は、令和2年4月1日現在、731施設となっています。



(2) 現状と課題

現 状

○人口推計

合併当時21万人であった人口は、減少傾向が続いており、令和27年には、推計で約14万人となる見込み。

(R2.4.1 現在の人口：190,042人)

○財源不足

市の財政は、歳出が歳入を上回るため、財源不足を基金の取崩しで補う状況が続く見込み。

(R2～R4年度で49.6億円の取崩しを予定しており、また、R5以降においても収支均衡を図る目途がたっていない。)

○公の施設の状況

- 多くの施設の老朽化に伴う、維持管理経費と更新費用増加の見込み。

(今後40年間の維持・更新費用試算額：約4,325億円)

- 合併前の各市町村で進めた施設整備により多くの類似施設を保有している。(温浴施設、体育館など)

課 題

- 人口の減少
- 施設機能の重複する配置
- 施設更新、維持管理に係る財政負担の抑制
- 施設機能の適正な維持
*老朽化する施設に対する計画的な修繕の実施、機能を維持するための複合化(機能集約)

2 公の施設の再配置計画（個別施設計画）について

(1) 公の施設の再配置の必要性

将来予測される人口減少や市の財政状況等を踏まえ、今後、施設の老朽化がますます進行し、大規模修繕や更新が見込まれる中、多くの施設を現状のまま維持していくことは困難な状況です。

このような状況の下、今を生きる私たちは、地域の皆さんと共に、子どもや孫など次代を担う世代が今後も安心して暮らすことができる将来を見据え、教育や福祉を始めとした市民生活を支える基礎的なサービスを安定的に提供していくためにも、施設の廃止や機能の集約を行う必要があります。

また、継続すべき施設については、末永く利用していただくため、適切に維持・管理し、長寿命化を図ることとしています。

(2) 計画期間

- 令和3年度～令和12年度の10年間とし、令和7年度に見直しを行います。

(3) 公の施設の再配置における取組方針

取組方針	具体的な取組
①人口や財政状況を踏まえ施設の配置を検討	廃止（休止） 用途の変更 機能の集約
②地域の実情を踏まえ施設の配置を検討	
③利用状況を踏まえ適切な管理者によるサービス提供を検討	民間譲渡 貸付又は譲渡
④長期にわたり利用促進を図るため計画的な修繕等について検討	施設の長寿命化

(4) 検討の主な手順（視点）

- ①公共関与の必要性を検討
 ②配置バランス（圏域別の配置）を検討
 ③各施設の状況（老朽化度、収支状況、利用状況、代替性）を検討
 ④施設カテゴリー毎の対応方向を検討



- ⑤施設毎の取組内容を検討

3 スケジュールについて

時 期	内 容
H31. 3～	○ 全 28 区の地域協議会に第 6 次上越市行政改革推進計画の策定に伴い行政改革の取組の概要を説明
R1. 10～11	○ 全 28 区の地域協議会に今後の「公の施設の再配置計画」の取組について説明
R1. 12～R2. 3	○ 地域協議会に公の施設の再配置の取組状況を報告 ○ 関係者との協議（利用者、地元町内会、その他影響が想定される団体等） ※再配置に伴う課題に対する対応策をあわせて協議し再配置計画に反映
R2. 4～	○ 関係者との協議（協議未了の施設）【施設所管課】
R2. 7～9	○ 地域協議会に関係者との協議に基づき作成した再配置候補施設リストを示す。 【行政改革推進課・施設所管課】 ※再配置に伴う課題に対する対応策をあわせて協議し再配置計画に反映
R2. 11	○ 再配置計画（案）の作成【行政改革推進課】
R2. 11～R3. 2	○ 所管事務調査（総務常任委員会）【行政改革推進課】 ○ パブリックコメントの実施（計画案の公表）【行政改革推進課】
R3. 3	○ 公の施設の再配置計画（個別施設計画）策定・公表【行政改革推進課】
<参考> 【計画策定後】 R3. 4～R13. 3	公の施設の再配置の実施 ○関係者と正式協議（方針決定） ○地域協議会に諮問 → 答申 ○市議会で議決 → 施設の再配置（廃止、譲渡等）

令和2年度地域活動支援事業（三郷区）内定一覧

資料No.2

【三郷区】の地域活動支援事業補助金の予算配分額：490万円

※ 当日の審査・採点委員数：12人

順位	整理No.	事業名	提案団体名	事業費(千円)	補助希望額(千円)	基本審査		優先採択審査			共通審査						審査・採点結果	採択額(千円)	左記を踏まえた内定			
						「適合する」の人数	「適合しない」の人数	結果	「該当する」の人数	「該当しない」の人数	公益性	必要性	実現性	参加性	発展性	合計点数			平均点	決定区分	補助額(千円)	
1	4	西松野木町内安全・防災対策事業	西松野木町内会	521	520	12	0	優先	12	0	57	54	52	46	46	255	21.3	採択	520	採択	520	
2	2	辰尾新田集落内安全・安心対策事業	辰尾新田町内会	93	90	12	0	優先	12	0	56	55	54	42	46	253	21.1	採択	90	採択	90	
3	6	いきいき健康ウォーク事業	三郷体育振興会	120	119	12	0	優先	12	0	46	46	50	46	44	232	19.3	採択	119	採択	119	
4	8	三郷区魅力マップ作製事業	三郷まちづくり振興会	214	213	12	0	優先	12	0	48	47	47	42	46	230	19.2	採択	213	採択	213	
5	1	三郷地区の歴史・史跡を研究する事業	三郷地区の歴史・史跡を研究する会	188	187	12	0	優先	12	0	45	43	49	43	45	225	18.8	採択	187	採択	187	
5	7	ウィンターフェスティバル事業	三郷体育振興会	117	117	12	0	優先	12	0	44	44	49	43	45	225	18.8	採択	117	採択	117	
7	5	さんごう仲間づくり事業	ENJOY35	18	17	12	0	優先	9	3	47	42	46	44	42	221	18.4	採択	17	採択	17	
8	3	三郷楽しい健康体操事業	楽しい健康体操教室	90	84	11	1	優先	11	1	45	43	46	40	42	216	18.0	採択	84	採択	84	
合計				1,360	1,347															1,347		1,347

<提案事業に対する附帯意見>

採択された全ての事業：提案事業の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努め、今後の発生状況に応じて、適切な対応をとること。
 なお、提案事業の中止、変更をする場合は、事前に南部まちづくりセンターに必ず報告すること。

整理No.6, No.7 : 屋外での事業を実施するにあたり、参加者及びスタッフ（準備から後片付けまで）の安全に十分配慮すること。

内定件数	8件
予算残額	3,553千円

1. 会議開催回数

委員の任期 平成28年4月29日～令和2年4月28日

年度	総会議数	内訳：種類別(協議・報告回数)[延べ]				
		自主的 審議事項	地域課題の 洗い出し	諮問	地域活動 支援事業	行政からの 報告
平成28年度	8回	4	2	0	11	1
平成29年度	7回	1	5	0	10	0
平成30年度	8回	7	0	0	6	1
令和元年度	8回	10	0	0	10	2
合計	31回	22	7	0	37	4

2. 自主的審議事項

自主的審議事項は地域の課題などを議題に、地域協議会が自主的に話し合う案件のことをいいます。話し合いの結果、地域で対応できないものは、市政運営の中で実現を求めるため、市に意見書という形で伝えることもできます。

【第3期の自主的審議事項】・・・2件

- (1) 三郷区における高齢者支援の取組について（平成28年10月28日～令和元年10月17日）
- (2) 三郷区の人口減少について（平成30年2月21日～新型コロナウイルスのため会議が開催できず最終審議は未了）

※詳細は[参考資料](#)参照

3. 諮問事項

諮問事項は、区内の重要な公共施設の設置・廃止などについて、市から意見を求められたとき、「住民生活にどのような影響があるか」という観点で話し合う案件のことをいいます。話し合いの結果は、市長へ回答することになっています。

【第3期の諮問事項】・・・0件

4. 地域活動支援事業の審査・採択

地域協議会は、課題解決に向け優先すべき事業等を協議して採択方針や審査方法を定め、提案された事業の審査・採択を行いました。

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算	490万円	490万円	490万円	490万円
提案状況	13件(558万1千円)	13件(478万7千円)	11件(501万円)	13件(494万2千円)
採択結果	13件(490万円)	13件(478万7千円)	11件(489万3千円)	12件(486万5千円)

【採択方針や審査方法に関する主な協議経過】

- ・審査にあたり各委員が事前に現地を見学することを申し合わせた（平成30年度から）
- ・優先して採択する事業に「人口減少」と「青少年の健全育成」に関する事業を追加（令和2年度から）

5. 委員研修

自主的審議事項などの協議の参考にするため、先進地視察や専門の講師を招いての研修会を実施しました。

実施年月日	テーマ	概要
平成28年 10月13日	諏訪の里づくり協議会の活動について	諏訪の里づくり協議会の会長等から、既に「地域支え合い事業」を受託している諏訪区の事例を学んだ。（町内会長協議会と合同で実施）
平成29年 4月25日	すこやかサロン三郷の視察	「すこやかサロン三郷」の実際の様子を視察したほか、サロンの参加者やJAえちご上越の担当者との意見交換した。
平成30年 8月28日	人口・世帯数の動向から考える三郷区の将来	市の創造行政研究所職員から人口や世帯数の推移・傾向について説明を受けた。
平成30年 10月9日	三郷地区公民館について	三郷地区公民館の今後の方針について市担当課から説明を受けた。（町内会長協議会と合同で実施）
令和元年 11月5日	「地域の魅力」とその発信について	上越教育大学大学院の吉田准教授から、地域の魅力とは何か、それをどのように発信すれば有効かを学んだ。（三郷区の魅力マップ作成編集委員会関係者と合同で実施）



平成29年度すこやかサロン三郷の視察



令和元年度「地域の魅力」とその発信について

6. 意見交換会

自主的審議事項などの議論の参考にするため、地域の各種団体や様々な年代の方を対象に意見交換会を実施しました。

実施年月日	参加者	テーマ	結果
平成28年 11月4日	三郷地区町内会長協議会(11人)	市から打診のあった「地域支え合い事業」の受託について	事業を受託できる組織が三郷区にないことから、組織の設立について検討する委員会を設けることに決定した。
平成31年 1月29日	高士区地域協議会(6人)(自主的審議事項「人口減少の抑制について」に取り組んでいる)	人口減少対策について	自主的審議の取組状況について情報交換したほか、人口減少対策について意見交換し、今後の議論の参考にした。

7. 地域協議会だよりの発行

地域協議会の活動状況を地域の皆さんに広く周知するため、地域協議会だよりを発行し全戸配布しました。

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
発行回数	4回	4回	4回	4回

【令和元年度の主な掲載記事】

- (1)自主的審議事項「三郷区の人口減少について」の取組状況
- (2)行政からの報告事項（公の施設の使用料改定など）
- (3)令和元年度地域活動支援事業の紹介

第3期の自主的審議事項について

参考資料

件名	地域の課題としたもの	課題解決に向け、考えた取組（当初案）	主な成果・実績	備考
(1) 三郷区における高齢者支援の取組について (H28. 10. 28～R1. 10. 17)	市が実施している「地域支え合い事業」について、市は地域の住民組織へ委託して実施する方針であるが、三郷区には受託可能な住民組織がない	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会での課題の洗い出し ・町内会長協議会との意見交換 ・必要に応じて地域住民や関係者との意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域支え合い事業」について市担当課から説明 ・「地域支え合い事業」を先行して受託している諏訪区の事例を学ぶ研修 ・町内会長協議会との意見交換 ・三郷まちづくり振興会設置検討委員会の立ち上げ →平成30年3月に「三郷まちづくり振興会」設立、4月から「地域支え合い事業」の受託開始。 	
	三郷区は高齢化が進んでいるため、「地域支え合い事業」だけでは高齢者の支援が不十分になることが想定される	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に必要な高齢者支援の取組について検討 ・検討した取組案について、実施可能な団体に提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・すこやかサロン三郷（地域支え合い事業）の視察 ・「地域支え合い事業」以外に必要な取組について協議 →一部の取組は三郷まちづくり振興会などの地域団体等で実施されており、他のものについては、<u>地域協議会で検討できるものではないため、今後の地域の動向を見守ることにした。</u> 	
(2) 三郷区の人口減少について (H30. 2. 21～R2. 4. 28)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人口が減少しており、このままだと地域の活力低下が想定される ・地域では、人口減少等により空き家が増加している 	<ul style="list-style-type: none"> ・手作りマップの作成などによる地域の魅力発信 ・空き家の有効活用の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口、世帯数の統計データに関する研修（講師：上越市創造行政研究所研究員） ・三郷区に転入された方との座談会 ・高士区地域協議会との意見交換会 ・空き地、空き家と地域の魅力を調査 ・地域の魅力とその発信方法に関する研修 ・三郷区の魅力マップ作成編集委員会の立ち上げ ・<u>区内住民向け魅力マップの内容と配布・活用方法について検討</u>（検討結果は編集委員会に情報提供） 	外部向け魅力マップの検討を行う予定であったが、コロナ禍の影響で会議が開催できないまま、第3期の委員の任期が満了。